

ホタル通信

No. 73 2009. 9. 20

会長 井上誠一

(***-****)

事務局 柿澤澄夫

(***-****)

<小山のホタルと自然を守る会>

**ホタルではありません！
谷戸は命に満ちている！**

ガビチョウも巣立っていきま
した。

8月の半ば抱卵をしていたガビチョウは、間もなくひなが孵り、親鳥は餌やりを頑張っていました。間もなく巣立っていったのでしょうか。9月の初めにはもう、親鳥も子どもも巣の辺りに見当たりませんでした。



ガビチョウの親

抱卵しているか、雛を抱いているのでしょうか。多少近づいても、じっと動きませんでした。



ガビチョウの雛

盛んに鳴いていました。餌を求めていたのでしょうか。(72号に卵の写真)

9月の半ば過ぎ、ヒガンバナがあちこちで咲始めました。律義な花ですね。彼岸の中日が近づくと必ず咲き始めるのですから。



ヒガンバナ 09.9.17

谷戸の整備をします。

ホシザクラ周辺緑地および3号緑地等の整備をします。次のようにご参加下さい。

日時：10月4日(日) 9:30~12:00

(雨天延期、改めて連絡)

集合場所：片所谷戸ベンチ前

仕事：下草刈り、クズ等の処理、木の整理等

持ち物：かま、草刈機(有る人)等、ノコギリ、ナタも多少使います。飲み物、

昆虫たちも元気！(裏面にも)



クサギ(クマツヅラ科)とオオカマキリ(片所北緑地)カマキリはおなが大きいですね。巣を作ろうとしているのでしょうか。

昆虫たちも元気<2009年>No2
片所谷戸8-9月



コムシジ タテハチョウ科



クロノマチョウ ジャノメチョウ科



ヒメウラナミジャノメ ジャノメチョウ科



スジグロシロチョウ シロチョウ科



ツユムシ ? キリギリス科



エンマコオロギ ? コオロギ科



オオカマキリ カマキリ科
雄が背中に乗っています。



アブラゼミ セミ科



ツマクロオオヨコバイ ヨコバイ科



オンブバッタ オンブバッタ科
雄が背中に乗っています。



ハネナガイナゴ バッタ科



ツチイナゴ(バッタ科)の幼虫?



イチモンジセセリ セセリチョウ科



ナナホシテントウ テンドウムシ科



サキグロムシヒキ ムシヒキアブ科



何トンボでしょう?